深宇宙展（科学未来館）のお話

台風が3個同時に発生しそうな予報ですね。全部が日本に来るというわけではないでしょうが、竜巻や浸水の被害を出した台風15号からそれほど時間がたっていないので、あまり近づいて欲しくないなぁ、と思います。天気図を見ると、秋雨前線も日本上空にかかっているので、大雨には引き続き注意しましょう。

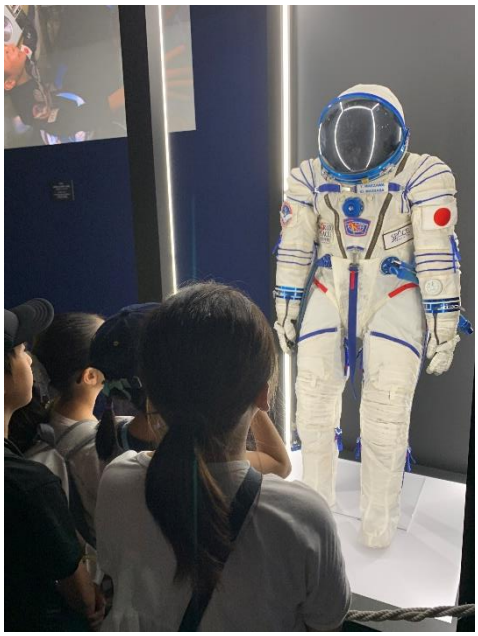
さて、今回は、8/31に科学未来館で見た「深宇宙展」のお話しです。

8/31に、あんDoと有志でお台場にある科学未来館の特別展「深宇宙展」を見てきました。参加してくれた生徒さんは10名。猛暑の中、朝から行列ができていましたが、館内は広く、比較的スムーズに入ることができました。

ロケット部品の展示。実際に触れてみることができました。

天体観測や宇宙開発の歴史とこれから、といった展示が中心で、日本やアメリカ、ロシア（旧ソ連）などのロケット開発の歴史やロケットの大きさの比較、実際のロケット部品の展示もありました。目玉としては、日本人（一般人）初の宇宙旅行者として2021年に国際宇宙ステーション（ISS）に

滞在した前澤友作さんが実際に着用した宇宙服や、地球への帰還に使われたソユーズカプセルもありました。



前澤友作さん着用の宇宙服

有人宇宙開発の今後としては、現在進行中のアルテミス計画に加え、将来的な火星有人飛行計画についての展望、中でも火星の地表を大画面でなめるように移動できる展示が素晴らしかったです。

また、国家レベルの宇宙開発だけでなく、以前ここの記事でも扱ったispase（アイスペース）やインターステラテクノロジスなど、民間企業による宇宙開発についても解説されていて、未来の宇宙開発に夢が広がる展示になっていました。

ソユーズカプセルのパラシュート

アルテミス計画に向けて開発中の有人月面車

行き帰りには、たまたま寄港していたイギリスの空母「プリンスオブウェールズ」や艦載機の F35 を見ることができたり、近くで展示されている南極観測船「宗谷」を見学したり（これで乗船率75%！）と充実した1日になりました。

南極観測船「宗谷」

深宇宙展は 9/28 までなのであと一週間ほどしかありませんが、「興味はあるけどまだ見てない」という人はぜひ見ておくべきだと思います。祝日もあるので、計画をたててみてはいかがでしょうか？

25/9/18　（これほど趣味に合致した特別展は久しぶり）あん Do